

わたし×京都生協

職員・思い出編

新型コロナウイルスがまん延していた時に、生協の配達担当の方が、「気をつけて！また、来週も元気で会いましょう！」と、いつも帰り際に声をかけてくれました！おかげで乗り切りました！

#わたし×職員

とある子育てイベントに参加したときに、ブースにいた方がとても親切に対応してくれました。私が店頭で気に入っていた商品が、宅配なら通年取り扱っていることを教えてくれ、一緒にいた子どもにも優しく接してくれました。

後日個人宅配を申し込むことになるのですが、家に来た別の方から「〇〇(ブースで担当して下さった方)が『とても楽しかった』と言っていた」と聞きました。こちらこそありがとうございました。

#わたし×職員

私には昨年の4月から始めたお稽古があります。
担当してくださっている方はいつも14時15分くらいに届けてくださいます。
その日に限って15時30分少し前、私の出発するぎりぎりの時間に、走って運んで来てくださったのです。急に欠員が出て遅くなりました、とのこと、私は何とか間に合いほっとした次第です。ありがとうございました。

#わたし×職員

小学生のころ、母が京都生協のカatalogを見ているそばで一緒にカatalogを見るのがとても好きでした。カラフルでいろんな商品(特にお菓子)が載っていて、食べたいと言うと注文してもらえるときもあり、うれしかったのを覚えています。自分が大人になり、子どもを持つようになった今、生協のカatalogを広げるとわが子も同じように寄ってきます。親子だなあと感じる瞬間もあり、こちらもうれしいです。これからもカatalogを見る時間が楽しみです。

#わたし×カatalog

約27年前、生協の配達を利用し始めたころの話です。
コーポロに、「譲りましょう もらいましょう」みたいなコーナーがあり、申し込んで男子幼児服を段ボールいっぱい譲ってもらいました。アロハシャツなどかわいいものがいっぱい。全然傷んでいなくて、保育園でたくさん着替えが必要ときに大助かりでした。リサイクルショップなどない時代に感謝、感謝でした。子どものアルバムを見ると懐かしく思い出します。

#わたし×思い出

生協に加入して間もなく、子どもたちと一緒に夏休みの綾部交流ツアーに行きました。夕食交流会で綾部酪農のA組合長からご挨拶があり、その時の「身土不二」はその後私がさまざまな活動をする時の芯になっています。
体と土地は分かつことができない、「地産地消」という言葉が言われる何十年も前の先見性に今でも感動します。この時があったおかげで娘は北海道で今、酪農をしています。私や娘に良い人生を示してくださったAさん、感謝の気持ちでいっぱいです。

#わたし×思い出

数年前、個人宅配を利用していました。配達員は新入職員のSさんでした。いつも元気で明るく、テキパキして爽やかさも届けてくれました。宅配の日が待ち遠しかったです。私は家の事情で個配をやめ、Sさんは担当から外れ退職したと聞きました。ほんの数カ月のお付き合いでしたが良い思い出です。

#わたし×職員

今から44年前、久御山配送センターでパートをした時のこと。
20名ほどでラインに沿って並び、班の注文品を段ボール箱に入れる作業で、自分の受け持つ商品は、朝礼のとき毎朝職員の方から発表される。商品には、洗剤のように重いものや、かさ高いものもあり、体格なども考慮されての配置であったので、作業に不慣れな人がほとんどだったが、ラインはそれなりに効率良く流れ進んでいった。ところが、だいぶ終わったあるとき、一部から受け持つ商品に不公平があると不満が出てきたのだ。

そこで不満を解消すべく、職員の方は公平さを優先にした配置にしていった。だが、それによりラインが滞りがちになり、商品の入れ間違いも起きやすくなった。
ある朝、受け持ち商品の発表の前に職員の方は言った。「大きい人も、小さい人も、力のある人も、弱い人も、みんなしんどく大変な作業だと思う。しんどさはみんな一緒に、自分は楽だと思っている人などいないと思う。配置に不満はあるかもしれないけれど、全く平等ということはできない、みんなそれぞれの役割を考え、思いやる気持ちを持ってやってほしい」と。不満の声は消えていった。その職員の方の言葉は今も心に残っている。

#わたし×職員

生協とのおつきあいは買い物難民対策から始まった。始まりからくらしの変化とともに「こんなにも生協で買えるやん！」という発見があった。
園芸を再開したときには、「土も苗も生協で買えるやん！」。介護がはじまったときには「おむつ、せいきょうで買えるやん！」。猫ちゃんがやってきたときには、「キャットフード買えるやん！」。この春、またくらしの変化が訪れた。今度はどんな「買えるやん！」に出会えるだろうか。

#わたし×思い出

生協の初期、近所の友人たちを誘って加入。
卵を分けたり、牛乳も子どもがお手伝い担当として取りに行ったり・・・。集金も大変だった。商品の数も今ほど多くないので、おかずも「またこれ？」と家族から不満の声も。今とは雲泥の差。年々改良されて便利になったものだ。親子でも～も～キャンプに参加したり、総代になって大会に行ったり、生協と共に年を過ごしてきましたよ。

#わたし×思い出